

事業のご報告

第46期 株主の皆様へ

2018年4月1日 ▶ 2019年3月31日

株式会社MARUWA

証券コード：5344



オトのじかん～MARUWAの音楽会～ 瀬戸市立瀬戸特別支援学校にて



株式会社 MARUWA QUARTZ 株式会社 MARUWA CERAMIC 株式会社 MARUWA SHOMEI 株式会社 YAMAGIWA

連結業績ハイライト

売上高

41,193 百万円

営業利益

9,556 百万円

経常利益

9,924 百万円

親会社株主に帰属する
当期純利益

6,770 百万円

当期決算のポイント

POINT
1

差別化製品が堅調に推移

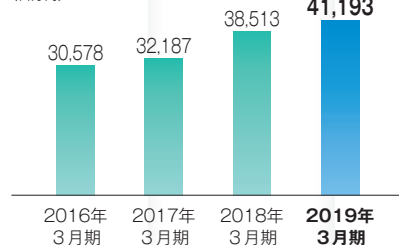
POINT
2

高い収益性を維持

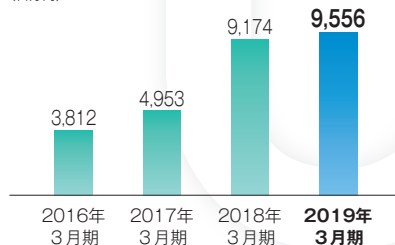
POINT
3

最高収益連続更新

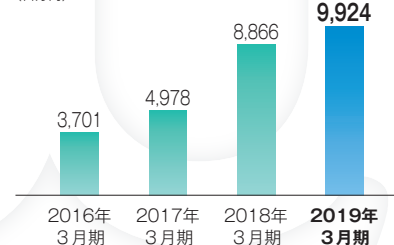
売上高
(百万円)



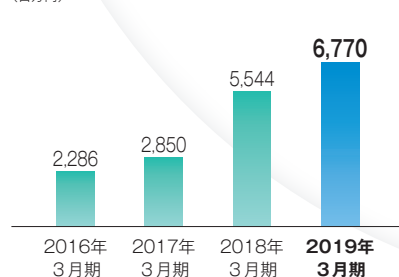
営業利益
(百万円)



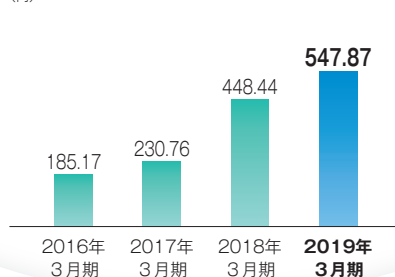
経常利益
(百万円)



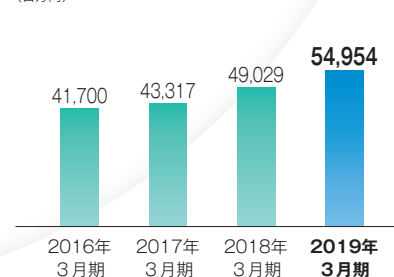
親会社株主に帰属する当期純利益
(百万円)



1株当たり当期純利益
(円)



純資産
(百万円)



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、2019年3月31日をもちまして、第46期（2018年4月1日から2019年3月31日まで）を終了いたしましたので、ここに「第46期事業のご報告」をお届けし、事業の概況等につきましてご報告申し上げます。

今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2019年6月

代表取締役社長



Q. 当期（2019年3月期）を振り返っていかがでしたでしょうか？

A. 差別化製品が中長期的な拡大に向けて期待できる手応えを得た年となりました。

当期は、当社グループが関連するエレクトロニクス市場において、車載の電装化や生産設備の自動化・省人化、AI・IoT関連等、次世代の成長市場向けにおける高付加価値品の需要が総じて底堅く推移しました。

以上の結果、売上高は前期比7.0%増の41,193百万円、営業利益は同4.2%増の9,556百万円、経常利益は同11.9%増の9,924百万円、親会社株主に帰属する当期純利

益は同22.1%増の6,770百万円となり、前期を上回る結果となりました。これまで進めてきた選択と集中による取り組みにより、当期の結果に結びついたと考えております。

しかしながら当期下期からは、米中貿易摩擦や政情不安に揺れる欧州などが世界経済の景況感の悪化につながり、エレクトロニクス部品等の需要鈍化による在庫調整や設備投資計画の調整が行われるなど、先行きに対する懸念が増

加し大きな市場の変化が起きました。

米中貿易摩擦等により半導体業界は今後も厳しい状況が想定されますが、次の成長市場として捉える次世代高速通信やAI等の新たな技術進展を背景に、エレクトロニクス部品への高性能・高機能化の要求が求められています。身近にある家電製品やモバイル端末、電気自動車や鉄道のみならず、データを自己分析・解析、その解決策となる答えまで考え出すAIやIoTの技術へと、拡大したと感じています。

半導体が必ず要する関連市場に向けて当社グループが取り組んできた事業戦略、差別化製品は、中長期的な拡大に向けて期待できる手応えを得た年となりました。

Q. 監査等委員設置会社へ移行されました

A. コーポレート・ガバナンスの一層の強化と企業価値の継続的な向上を図ってまいります。

このたび、企業統治の一層の充実を図ることを目的に2019年6月25日開催の第46期定時株主総会の承認をもって、監査等委員会設置会社へ移行いたしました。複数の社外取締役を含む監査等委員である取締役に、取締役会の議決権が付与されることにより、監査及び監督機能の強化が

図られ、コーポレート・ガバナンス体制の一層の充実と強化を実現することができ、当社の企業価値の継続的な向上に資するものと判断しております。

当社のコーポレート・ガバナンスに対する基本的な考え方は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を経営上の最重要課題と位置付けており、その実現のために、コーポレート・ガバナンス体制の充実が不可欠と考えております。コーポレート・ガバナンス体制の充実に向けて、経営環境の変化にも迅速に対応できる組織体制を構築し、上場企業として公正かつ透明性をもって経営にあたるという姿勢を貫き、企業の社会的責任及び企業倫理の確立に向けた社内体制の整備を進めてまいります。

Q. 新しい事業年度にむけて

A. 積極的な投資と株主還元を進めてまいります。

世界では、貿易摩擦の行方や英国のEU離脱問題、地政学懸念等、先行きは不透明な状況ではありますが、当社グループの差別化製品は必要不可欠な製品やデータインベションに欠かせないものとなると考えております。その対応のためには、新たな素材・特性の開発と要素技術の融合、素

早い新製品開発と増産体制の構築、AI導入や工程の自動化等による業務環境の改善と高付加価値化、新たな産業改革、5G時代に備えた、先を見据えた投資をこれまで以上に積極的に行うことは、経営の重要施策であると考えており、中長期的な観点に立って、先端技術開発には思い切って投資を行います。

具体的には、次世代の成長製品に対する研究開発の強化を目的に、当社グループ本社がある愛知県尾張旭市にR&Dセンター（仮称）を建設し、技術を結集し新たな付加価値を創出してまいります。さらに、差別化製品の量産化、生産性向上を目的に、愛知県瀬戸市に新工場の建設を進め、これまでの作業の効率化や生産設備の自動化、原価低減、品質向上に対する改善を進めるとともに、新たに差別化製品の需要増加への対応を加速させ、スピード感を持って企業価値の向上を図ってまいります。

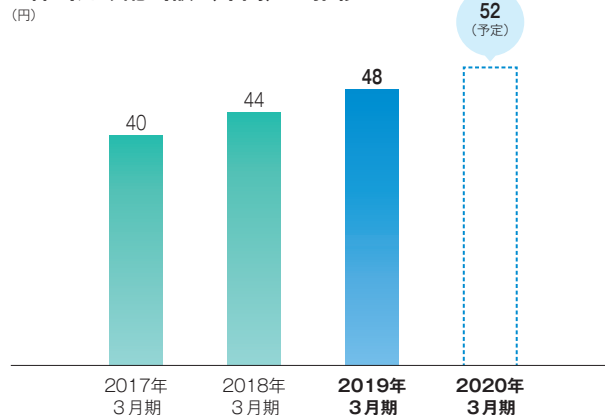
同時に、株主還元の本柱である配当についても、利益還元を経営の最重要施策のひとつと位置づけており、安定的かつ継続的な配当を行ってまいります。ニッチな市場で高いシェアを目指した取り組みの結果、当期は過去最高の利益を更新することができました。これは、収益性向上に対する取り組み及び、地域社会ならびに株主様からのご支援が作り出したものと考えています。

次期の配当につきましては、今後の事業拡大に必要な戦略投資にむけた内部留保を勘案しながら、当期と比べて4円増配した1株当たり年間52円（当期は1株当たり年間48円）を予定しております。

当社グループが目指すゴールはまだ先にあり、決して現状に満足しているわけではありません。さらなる成長に向けて、地域社会の一員として、全員参加で企業価値向上に向けて邁進してまいります。

今後とも、経営内容にご理解をいただき、ご支援・ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

1株当たり配当額（年間）の推移



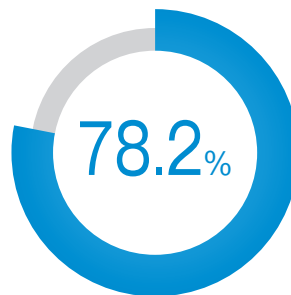
セグメント別の概況と事業領域

セラミック部品事業

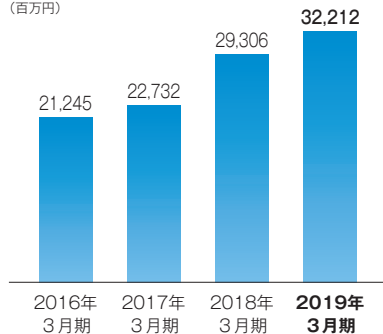
売上高 **32,212** 百万円

当事業における市況は、おおむね好調であったものの、米中貿易摩擦の激化などによるエレクトロニクス製品の需要鈍化や生産調整、生産設備の投資計画の調整や受注に弱さが現れはじめ、足元では先行き不透明な状況となりました。この市況環境の中で、当社グループは、車載関連、AI・IoT関連、次世代高速通信など次世代の成長市場に向けた差別化製品の開発や開拓・拡販を行うとともに、中長期的な事業成長戦略を進めてまいりました。

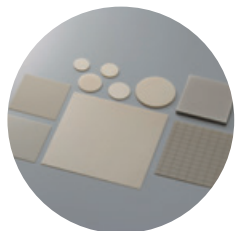
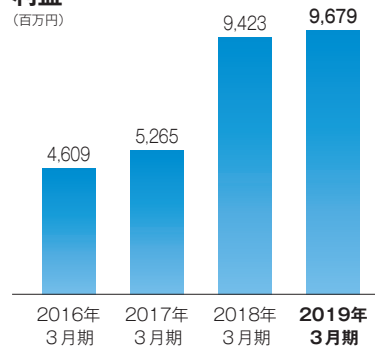
売上高構成比



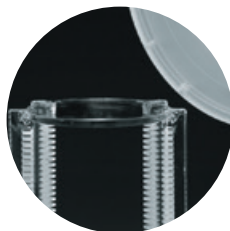
売上高 (百万円)



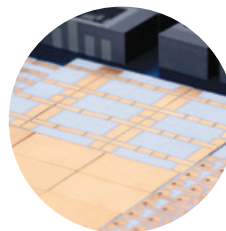
利益 (百万円)



窒化アルミニウム基板



石英ガラス製品



多層回路基板

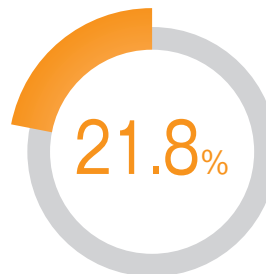
照明機器事業

売上高

8,981 百万円

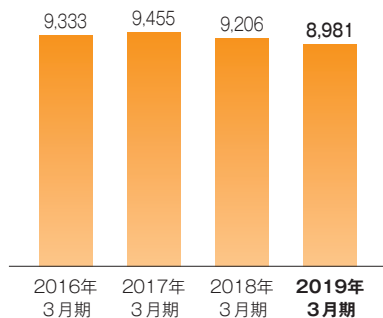
当事業における市況は、公共や施設での照明機器のLED化において、より高い品質の製品需要が増加しております。当社グループでは、開発したLED高輝度照明や高演色LED照明の開発を行い、高付加価値製品をリリースしました。競争力のある差別化ハイエンド照明機器の拡大とともに、収益性が向上しました。

売上高構成比



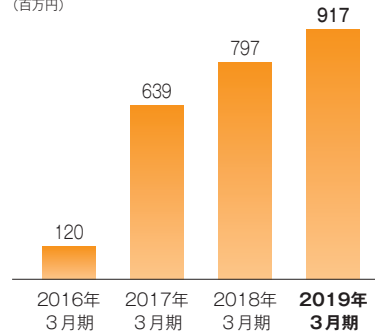
売上高

(百万円)



利益

(百万円)



LED高輝度照明



LED景観照明



各種施設照明設計

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部	前期	当期
	2018年3月31日	2019年3月31日
流動資産	41,670	45,575
現金及び預金	21,994	22,627
受取手形及び売掛金	9,790	10,266
電子記録債権	1,047	1,476
たな卸資産	7,668	9,776
貸倒引当金	△ 1	△ 1
その他	1,171	1,430
固定資産	16,843	19,052
有形固定資産	14,092	16,347
建物及び構築物	5,026	6,070
機械装置及び運搬具	4,053	4,634
土地	3,943	4,003
建設仮勘定	389	813
その他	680	825
無形固定資産	274	533
投資その他の資産	2,476	2,171
資産合計	58,514	64,627

負債及び純資産の部	前期	当期
	2018年3月31日	2019年3月31日
流動負債	8,635	8,860
支払手形及び買掛金	2,428	2,827
電子記録債務	1,456	1,704
未払法人税等	2,061	1,590
その他	2,688	2,738
固定負債	849	812
繰延税金負債	449	452
その他	400	360
負債合計	9,485	9,673
株主資本	49,614	55,701
資本金	8,646	8,646
資本剰余金	11,996	11,994
利益剰余金	29,048	35,249
自己株式	△ 77	△ 188
その他の包括利益累計額	△ 584	△ 747
その他有価証券評価差額金	166	117
為替換算調整勘定	△ 751	△ 864
純資産合計	49,029	54,954
負債純資産合計	58,514	64,627

連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
2018年4月1日残高	8,646	11,996	29,048	△ 77	49,614	166	△ 751	△ 584	49,029
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△ 568		△ 568				△ 568
親会社株主に帰属する当期純利益			6,770		6,770				6,770
自己株式の取得				△ 125	△ 125				△ 125
自己株式の処分		△ 2		13	11				11
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						△ 48	△ 113	△ 162	△ 162
連結会計年度中の変動額合計	—	△ 2	6,201	△ 111	6,087	△ 48	△ 113	△ 162	5,924
2019年3月31日残高	8,646	11,994	35,249	△ 188	55,701	117	△ 864	△ 747	54,954

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前期	当期
	2017年4月1日～ 2018年3月31日	2018年4月1日～ 2019年3月31日
売上高	38,513	41,193
売上原価	21,928	23,264
売上総利益	16,584	17,928
販売費及び一般管理費	7,410	8,372
営業利益	9,174	9,556
営業外収益	178	431
営業外費用	485	63
経常利益	8,866	9,924
特別利益	16	7
投資有価証券売却益	—	3
その他	16	4
特別損失	426	57
事業整理損	100	—
その他	325	57
税金等調整前当期純利益	8,456	9,874
法人税、住民税及び事業税	2,765	3,139
法人税等調整額	146	△ 35
当期純利益	5,544	6,770
親会社株主に帰属する当期純利益	5,544	6,770

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前期	当期
	2017年4月1日～ 2018年3月31日	2018年4月1日～ 2019年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	8,456	9,874
事業整理損	100	—
減価償却費	1,846	2,059
のれん償却額	20	17
売上債権の増減額（△増加）	△ 1,214	△ 333
たな卸資産の増減額（△増加）	△ 609	△ 1,455
仕入債務の増減額（△減少）	267	706
その他	△ 1,322	△ 3,901
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,544	6,967
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△ 2,671	△ 4,320
事業譲受による支出	△ 130	△ 1,603
その他	△ 49	233
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,851	△ 5,691
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△ 22	—
自己株式の取得による支出	△ 126	△ 125
配当金の支払額	△ 519	△ 568
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 668	△ 694
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 59	67
現金及び現金同等物の増減額（△減少）	3,965	648
現金及び現金同等物の期首残高	17,834	21,799
現金及び現金同等物の期末残高	21,799	22,448

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

TOPICS

株主優待のご案内

①当社主催クリスマスコンサートご招待

株主様1名につきペア1組(2名)様をご招待します。

MARUWA CHRISTMAS CONCERT 2019開催告知

開催日:2019年12月22日(日)

会場:愛知県芸術劇場コンサートホール

出演予定:西本智実(指揮)ノイルミナートフィルハーモニーオーケストラ

世界的に活躍する女性指揮者、西本智実さんが芸術監督・首席指揮者を務めるイルミナートフィルハーモニーオーケストラが、MARUWAクリスマスコンサートのための特別プログラムをお贈りします。

お申込み期間:2019年9月20日(金)~11月15日(金)



写真:塩澤秀樹

②MARUWAアカデミーヒルズ宿泊ご優待

当社が軽井沢に保有する施設「MARUWAアカデミーヒルズ」にご宿泊いただけます。

★2019年8月からご宿泊可能となります。

YAMAGIWAの取り扱う輸入照明や家具などのインテリアを配置し、部屋ごとに異なるテーマで内装やインテリアコーディネートにこだわりました。日常から離れて、ごゆっくりとお過ごしいただければ幸いです。

場所:長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢(大字)1341-16

JR軽井沢駅より車10分、旧軽井沢繁華街より徒歩15分程度

お申込み:2019年7月1日(月)より受付開始



③公演チケット優待

オペラ・バレエ・オーケストラ演奏などの文化・芸術の公演チケットを、株主様1名につき、2つの公演まで優待いたします。

文化・芸術の公演をもっと身近にお楽しみいただければという想いで、対象公演の一般チケット料金の30~40%(上限5,000円)をキャッシュバックします。

株主優待の詳細・お申込み方法は、当社WEBサイトの株主様専用ページをご覧ください。

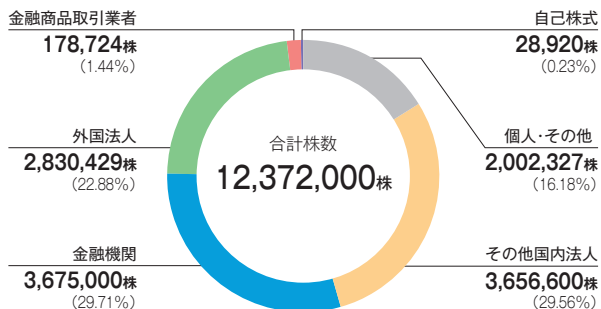
株式の状況／会社概要

株式の状況 (2019年3月31日現在)

■ 発行可能株式総数	26,000,000株
■ 発行済株式の総数	12,372,000株
■ 単元株式数	100株
■ 株主数	3,691名
■ 大株主 ※上位5名を掲載	

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社神戸アート	3,561,520	28.78
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,592,200	12.86
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	633,000	5.11
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/ JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	467,000	3.77
GOVERNMENT OF NORWAY	345,948	2.79

■ 所有者別株式分布



役員 (2019年6月25日現在)

代表取締役社長	神戸 誠	取締役	内田 彰	社外取締役(監査等委員)	光岡 正彦
取締役	林 春行	取締役	神戸 俊郎	社外取締役(監査等委員)	松本 茂裕
取締役	マニマラン・アントニ	取締役	及位 環	社外取締役(監査等委員)	加藤 晶英

会社概要 (2019年3月31日現在)

商号	株式会社MARUWA
設立年月日	1973年4月5日
事業内容	エレクトロニクス用セラミックス・産業用セラミックス・電子部品及び照明機器の開発・製造・販売
資本金	86億4,672万円
従業員数	1,867名(連結)
本社	愛知県尾張旭市南本地ヶ原町三丁目83番地
工場	土岐工場(岐阜県土岐市) 瀬戸工場(愛知県瀬戸市) 直江津工場・春日山工場(新潟県上越市)
営業拠点	東京、愛知、大阪、福島、新潟、福岡
国内子会社	株式会社MARUWA QUARTZ(福島県田村郡三春町) 石英ガラス製品の製造 株式会社MARUWA CERAMIC(愛知県尾張旭市) セラミック製品の製造 株式会社MARUWA SHOMEI(東京都港区) 照明機器の製造・販売 株式会社YAMAGIWA(東京都港区) 照明器具の企画・開発・製造・販売、 照明・インテリア計画の実施及び 照明・家具の輸入・販売
海外	生産拠点 マレーシア 営業拠点 マレーシア、台湾、韓国、 中国、イギリス、アメリカ

株主メモ／お知らせ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月開催
- 基準日 定時株主総会・期末配当金／毎年3月31日
中間配当金／毎年9月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
- 公告方法 電子公告により行います。
公告掲載URL
(<https://www.maruwa-g.com/ir/notification.html>)
※事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
- 上場金融商品取引所 東京、名古屋、ロンドン、シンガポール
- 証券コード 5344
- 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 株主名簿管理人事務取扱場所 名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- 郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- 電話照会先 0120-782-031（フリーダイヤル）

株式会社MARUWA

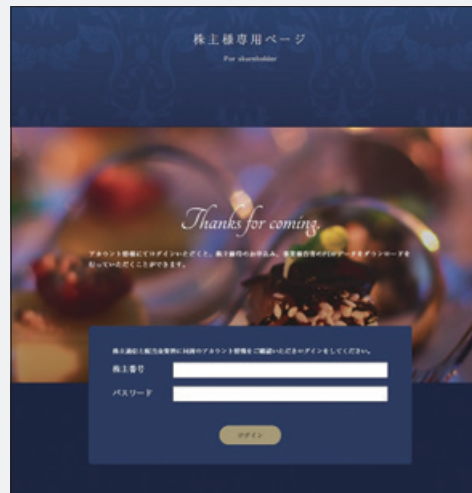


株主様窓口

株式会社MARUWA 事業管理・IR室
〒488-0044
愛知県尾張旭市南本地ヶ原町三丁目83番地
電話 0561-51-0841

WEBサイトのご案内

MARUWA WEBサイトIR情報内に、株主優待に関する詳細やお申込みに関する情報を掲載した株主様専用ページを設けました。過去の株主通信も閲覧できます。ぜひご覧ください。



<https://www.maruwa-g.com/ir/stockholder/login.html>

MARUWA 株主様専用

検索

9桁の株主番号とパスワードを入力してログインしてください。

パスワード: **Maru46**

パスワード有効期限: 2020年5月31日

